



消防大学校だより

上級幹部科(第75期)

消防大学校では、1月18日から2月3日まで、消防の上級幹部としての資質のさらなる向上を目的に、消防長、署長を中心とした48名の学生を対象に上級幹部科第75期を実施しました。

座学では、久保信保消防庁長官をはじめとする消防庁幹部による最新の消防行政の動向に関する講義、北村吉男全国消防長会会長による組織管理者の役割に関する講話等を通じて、組織のリーダーとしての職責と心構えについて認識を深めました。

その他に、消防管理概論、教育技法、安全管理、惨事ストレス対策等、組織管理を行う上での重要事項について、理論、制度を含めて理解を深めました。

また、危機管理広報での模擬記者会見、指揮シミュレーション訓練及び状況予測型図上訓練等の体験型の研修内容も多く取り入れました。特に指揮シミュレーション訓練では、大規模災害発生時における消防応援に関する総合調整の重要性を認識し、各地域における受援体制を円滑に構築できるよう「消防応援活動調整本部」の運用訓練を実施しました。ほとんどの学生が初めての経験であり、災害実態の早期把握、情報の共有、効果的な緊急消



通常点検(学校長点検)

防援助隊の運用による被害の軽減を目指し、応援側、受援側のそれぞれの立場で熱心に訓練を実施しました。

研修を終えた学生からは、「活力に満ちた組織の構築・運営、精強なる部隊の育成に向けて、我々自身が知識、技術の習得に努めることの重要性を改めて認識した。」などの感想が寄せられました。

これまでに培った経験、実績に加え、今回の研修で習得した高度な知識と判断力、そして全国の仲間から得た情報を活かし、消防防災体制の充実強化に向け、上級幹部科第75期卒業生のさらなる活躍を期待します。



指揮シミュレーション訓練
(大規模災害時の応援・受援)



危機管理広報
(模擬記者会見)

緊急消防援助隊教育科 高度救助・特別高度救助コース(第1回)

消防大学校では、高度な資機材（救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令別表第3に定める救助資機材）を装備し、又は装備する予定である救助隊の隊長等を対象に、2月13日から24日まで、高度救助・特別高度救助コース（第1回）を実施しました。本コースは、高度救助隊、特別高度救助隊の救助業務に必要な高度の知識及び能力を習得させることを目的としています。

座学では、消防庁国民保護・防災部の広域応援対策官による「消防広域応援」、消防庁国民保護・防災部参事官補佐による「救助行政」のほか、東日本大震災で緊急消防援助隊の支援を受けた仙台市消防局による「広域消防応援受援体制」、放射線医学総合研究所による「放射線災害対策」などを学び、実科訓練では、高度救助資機

材の取扱い及び検索訓練をはじめ、大規模災害対応訓練として大規模地震を想定した指揮訓練などを実施しました。

また、各消防本部において発生した災害活動事例を持ち寄り、事例発表を行い、受講生全員で活動要領等を再検討したほか、「災害対応能力向上を目指した訓練方法」や「各所属の救助隊で抱えている課題」について検討を行い、活発な意見交換をして、その成果を発表しました。

受講生からは、「発表された成果を参考に検証してみたい。」との意見が寄せられました。

消防大学校において習得した知識及び技術を各消防本部で活かし、大規模災害時に迅速かつ的確な対応がなされることを期待します。



課題討議発表



大規模地震想定訓練

消防大学校成績優秀者(学生番号順)

科 名 (期)	氏 名	所属消防本部 (都道府県)
幹部科 (第28期) 1月17日～2月29日 78名	益子 康	函館市消防本部 (北海道)
	宮 利昌	朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部 (埼玉県)
	吉野 賢二	横浜市消防局 (神奈川県)
	浅田 義英	金沢市消防局 (石川県)
	浅井 邦彦	岡崎市消防本部 (愛知県)
	白羽 政俊	姫路市消防局 (兵庫県)
	松岡 浩志	岡山市消防局 (岡山県)
	高橋 浩	久留米広域消防本部 (福岡県)